

社会保障審議会 医療保険部会

部会長 遠藤 久夫 殿

第116回社会保障審議会医療保険部会に対する意見

2018年12月6日

一般社団法人 日本経済団体連合会

医療・介護改革部会長 望月 篤

第116回医療保険部会に欠席いたしますが、今回の議題に関連して、下記の通り、当会の意見を提出いたします。今後の審議に向けて、宜しくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

記

1. 医療・介護データ等の解析基盤に関する有識者会議における検討状況

第三者提供の制度化に際しては、「公益目的での利用」について、民間企業を含めた幅広い主体による研究開発や新産業創出をはじめとして、医療・介護の質の向上に向けた取組を促進することが可能となるように柔軟な対応が講じられることを求める。

また、有識者会議報告書に掲載されている各種検討事項について、2020年度の本格運用を見据えて、上記の視点を踏まえ、研究開発や新産業創出の主体となる民間企業等の意見も十分に踏まえながら、引き続き有識者会議や当部会においても議論を重ねていくべきである。

2. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議における検討状況

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を健康寿命の延伸、そして医療・介護給付費の適正化に結びつく施策としていくことが重要である。

この際、特に実効性のある取組を横展開するといった工夫が求められる。こうした観点からも、今後、取組状況はもとより効果の検証をしっかりと行い、定期的に当部会にも報告していただきたい。

以上